

政策変更に伴う追加費用 の発生について

2012年4月16日

日本原燃株式会社

リサイクル政策選択の歴史的経緯

日本原燃株式会社



- 1956年（昭和31年） 初めての原子力長期計画で、既に再処理リサイクル政策を選択 「再処理および廃棄物の分離処理は、初期は日本原子力研究所が研究的に実施するが、その後は…原子燃料公社において集中的に実施」
- 電力会社は、1970年頃に始まった原子力発電の導入に伴い、再処理を**英仏に委託**
- 1976年（昭和51年） 動燃事業団（原燃公社を承継）が**東海再処理工場**のホット運転を開始
- 1984年（昭和59年） 電事連が青森県及び六ヶ所村に原子燃料サイクル施設立地を申し入れ、翌1985年**地元同意**
- 2005年（平成17年） 再処理とونسルーを比較し、再処理を妥当とした原子力政策大綱を閣議決定
- 2006年（平成18年） 日本原燃再処理工場がアクテイブ試験開始（**425トン**を再処理し、6.66トンのMOX粉末を回収）